

理事長就任のご挨拶

社会福祉法人日本心身障害児協会
理事長 藤井 康弘

この度、理事長に着任しました藤井と申します。かつては行政で児童福祉や障害福祉に携わっており、プライベートでも里親家庭として、障害のある子どもも含め児童相談所が保護した子どもたちを養育してきましたので、皆さんとともにこのセンターで働くことを大変嬉しく思い、意気に感じています。

建て替えという大きな課題のある時期でもあり、身の引き締まる思いですが、利用者の皆さんに適切な医療と快適で豊かな生活環境を提供できるよう、また職員の皆様が前向きに熱意を持って日々の仕事に取り組んでいただけるよう、この社会で最も重要で不可欠な仕事に従事していただいている皆様とともに、前進していきたいと思ひます。どうかよろしくお願いいたします。



慶應義塾大学医学部三四会

社会功労賞を受賞しました

慶應義塾大学医学部同窓会（三四会）から、令和 7 年度社会功労賞を受賞しました。長年にわたる島田療育センター院長、また日本重症心身障害福祉協会理事長として重症心身障害児者の医療・療育の発展に寄与したことを認められての受賞です。

この受賞は私だけでなく、島田療育センターの皆様や日本の重症心身障害児者施設の方々の応援のたまものだと思っています。ありがとうございました。（名誉院長 木実谷 哲史）



書籍
紹介

失敗から学ぶ 小児神経診断エラー学

この度「失敗から学ぶ 小児神経診断エラー学」という書籍を診断と治療社より出版しました。千葉大学 杉田克生先生とともに編集・著作を担当し、30 人の著者たちによる渾身の診断エラー論を発表することができました。



医療関係者ならば誰でも思い出したくない失敗の一つや二つは持っていて、特に若い頃（若くなくても）のそれは実に教訓とすべきことが多い。それをエラーとして終わったことにせず、振り返り、共有化を図ろうとするものです。

本書籍は 2020 ～ 2023 年の日本小児神経学会のプレコンgressとして開催された実践教育セミナーが

もとになり、「誤診から学ぶ」というテーマをまず企画し、さまざまな症例提示と振り返り、その認知バイアスの構造解析、組織の問題、稀少疾患での困難さ、歴史的背景を議論しました。

私は様々な影響を受けた瀬川昌也先生の瀬川病の疾患概念が確立するまでを論じています。ひとつの疾患概念が出来上がっていないと鑑別にすら挙げることはできません。MRI も遺伝子解析もない時代に稀少神経疾患を徹底した観察で病態を推定していった過程をみることで新たな段階へ診断・治療が進んでいく動的な過程を分析してみました。

本書籍が出版に至ったのは私のメンターであるお茶の水女子大学名誉教授榊原洋一先生が出版社に取り次いで下さったからです。その先生は出版を見ることなく 3 月に逝去されました。ここに生前の御厚情をこころより感謝いたします。（院長 久保田 雅也）

第7病棟 大遠足

5月14日(水)、7病棟西棟の大遠足を行ないました。厚生棟にて、『新緑の時のドッグランへ出かけよう』をテーマにCAPP(コンパニオン・アニマル・パートナーシップ・プログラム)を行ないました。動物に触れたり抱っこしたりし、ふわふわした毛並みや温もりを感じられたようです。また動物のかわいらしさに皆さまにこにこ穏やかな表情をされていました。

病棟外に皆さんでお出掛け出来、充実した一日となりました！
(療育主任 柴田 敦子)



第6病棟 大遠足

今年も移動販売ふくまるさんをお呼びして、厚生棟でお買い物をしました。今回は、春夏物の服を中心に用意していただき、これからの季節にぴったりの服をそれぞれ選んで購入されていました。ご家族や後見人様もたくさんお見えになり、にぎやかな時間を過ごすことができました。

会計を済ませ、自分で作成したバッグにつめてもらい、お気に入りの一着と一緒に記念撮影。とても楽しい一日となりました。
(療育主任 大谷 智子)



第2病棟 大遠足

今年のテーマは「空の旅」のもと、1日目は人形劇を観劇しました。パン屋さんのお話や探検に出る心強い物語など、可愛らしく生き生きと動く人形たちにみなさん釘付けでした。2日目は参加型パフォーマンスで、ご家族や職員の方々も引き込まれて行き、笑顔と拍手があふれる賑やかな時間となりました。

(看護師 二宮 かおり)



第5病棟 お楽しみ会

大遠足から名称を変更して、今年度より「お楽しみ会」となりました。前半の「夏のお楽しみ会」は、異国ムード漂う「ハワイアン」をテーマに実施しています。南国らしい飾り付けで、記念撮影。ボランティア様によるウクレレの演奏、フラダンスの鑑賞と、旅行気分を味わっていただくことができました。後半の「秋のお楽しみ会」は10月予定でテーマはそのまま

に飾りつけのテイストを替えて実施予定です。お楽しみに！
(療育主任 油田 浩幸)



第3病棟 大遠足

6月25日(水) 3病棟西棟大遠足を開催しました。今回のコンセプトは「クルーズ船ランチショー!」。厚生棟が大海原になりキラキラした海の上で、マジックにじろさんによるショーを鑑賞しました。メンバーを「クルー」として紹介し、みんなで「レッツゴー!」の掛け声とともにカラフルな布が舞い出航。学校時代に歌った歌をみんなで歌ったり、利用者様も

ロープを掴んでマジックに出演したり、豪華な南京玉すだれに見入ったり…。賑やかで楽しいクルーズの時間を、皆で過ごすことができました。

(療育主任 宮沢 直美)



島田療育センター全体

防災訓練

6月28日(土) 島田療育センター全体の防災訓練を実施しました。平日の昼間に震度6の地震が発生した想定で例年通りに災害報告・センター内の安否確認等初期行動と連絡について無線を使って実施し多職種で多くの職員が訓練に参加しました。

今回の訓練では、災害時のトイレ状況を職員が把握する為に災害時用のトイレも設置しました。災害時のトイレ事情については映像での院内研修でも学びましたが設置された状態を見ながら想像すると衛生的・精神的に大変な状況が想像されました。平常時にご家庭でも設置して想像しておくことも大切だと感じました。

今回の訓練での課題等を検証改善し今後とも災害時の対策に生かしていきたいと思います。

(防災危機管理委員会 川澄 敦)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか?

このコーナーはネットワークしまでで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。



1人歩きを始めたお子さんに、初めての靴を買うとき、どんな靴がよいですか?



運動発達のゆっくりなお子さんが、歩き始めた時、どんな靴を準備したらよいですか?と質問されることがあります。

子供の足は、関節がとても柔らかい状態です。そのため、立位姿勢で足に体重がかかると、踵が内側に倒れやすくなります。立ったり、歩いたりする時間が増え、足に体重が掛かると、骨・筋肉が発達し、しっか

りした足に成長していきます。

柔らかい足をサポートするために、靴を選ぶポイントは、5つあります。1つ目は、踵が硬く、しっかりしているもの。2つ目は、足首のくびれまで深さがあるもの。3つ目は、靴底の前3分の1あたりで曲がるもの。4つ目は、足の甲の部分をしっかり締められるもの。5つ目は、つま先に余裕があるものです。

以上のポイントに合った靴を履くことで、外のデコボコした道での歩行も、安定しやすくなります。

たくさん歩くようになると、足の大きさもどんどん大きくなるので、こまめにサイズをチェックしてあげてください。

(理学療法士 熊崎 恵里)

センター内研修報告

防災危機管理委員会研修「災害時のトイレ問題」

大規模災害時に深刻化するトイレ問題の実態と具体的な備えや注意点、その対策方法について学びました。

虐待防止研修「身体拘束の基準と手続き」

身体拘束の基準と手続きについて、法令や判例の考え、および具体的な要件や手続きの詳細などを学びました。

医療安全講習「療育施設で利用者誤認を防ぐには」

本人への確認が難しい患者誤認について、職員間のコミュニケーションの重要性を学びました。

第5回食べるプロジェクト「口腔機能・食形態に関して」

口腔機能発達に応じた食形態選択と口唇閉鎖介助、安全な経口・経管併用とNST連携の栄養管理を学びました。

第19回島田療育センター集談会

会場で口演発表3題、ポスター発表7題が発表されました。発表後はセンター内の研修視聴サイトへの掲載や、一定期間通路へのポスター掲示も行いました。

お知らせコーナー



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL **042-374-2101**(直通)

費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。

家族向け発達支援講座 ――詳細・お申し込みはQRコードから――

講座3

今日からできる！
姿勢を育てるためにできること

日時 9月11日(木)
10:00～11:30

対象 就学前後のお子さんをもつご家族の方

会場 パルテノン多摩 4F 会議室 3・4



講座4

子どもの見る力を伸ばす ～読み書きが苦手な子どもへのビジョントレーニング～

日時 9月3日(水)
10:00～11:30

対象 年長～中学生のご家族

会場 永山公民館 視聴覚室



講座5

ことばを育てる関わり(予定)

日時 10月
10:00～11:30

対象 ことばが出る前～3語文程度の発達段階のお子さんの保護者

会場 未定

島田療育センター

わいわい祭り2025



日程 2025年9月27日(土)

会場 島田療育センター(外来待合室・訓練室など)

時間 14:00～17:00

ホームページにて詳細な内容を掲載しています。
詳しくは以下のページをご参照ください。

島田療育センター わいわい祭り2025



スマートフォンの方はこちらから



季節の彩り

「動物たちの夏休み」をテーマに、お日様の下で絵を描くクマと動物達を取り囲むように、カラフルな朝顔に装飾の工夫を感じる作品になりました。散歩の途中でご覧ください。



発行者

社会福祉法人
日本心身障害児協会

島田療育センター

〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL

042 (374) 2071 (代表)

URL

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ブログ
ほっけ



フェイスブック

